

資料2

〔青森県立高等学校将来構想検討会議第1分科会（第3回）資料〕

高等学校教育に関する意識調査等（速報）

平成26年10月20日

青森県教育委員会

目次

1	高等学校教育に関する意識調査	1
(1)	対象者数及び回収結果	1
(2)	中学校卒業後の進路希望	1
(3)	高校進学を希望する場合の内訳	1
(4)	高校卒業後の進路希望	2
(5)	将来の仕事	2
(6)	高校生に身に付けてほしいこと（身に付けたいこと）	3
(7)	今後、募集人員を増やしてほしい学科	4
(8)	これまで導入してきた新しいタイプの高校や教育制度	5
(9)	本県で未導入の新しいタイプの高校や教育制度	6
2	多様な教育制度等に対するアンケート調査	7
(1)	総合学科	7
(2)	全日制普通科単位制	9
(3)	併設型中高一貫教育	11
(4)	連携型中高一貫教育	13
(5)	定時制3部制	15
(6)	定時制3部制・総合学科	17
(7)	総合選択制	19
3	県小学校長会及び県中学校長会への意見照会結果	21
(1)	青森県小学校長会	21
(2)	青森県中学校長会	23

1 高等学校教育に関する意識調査

(1) 対象者数及び回収結果

※参考として前回調査（平成9年7月）の結果を「H9」に掲載

	H26			(※) H9		
	対象者数	有効回収数	有効回収率	対象者数	有効回収数	有効回収率
中学2年生	1,000	954	95.4%	1,000	998	99.8%
高校2年生*	1,000	965	96.5%	1,000	998	99.8%
高校2年生保護者*	1,000	955	95.5%	1,000	983	98.3%
中学校2年生保護者	1,000	955	95.5%	1,000	969	96.9%
小学校6年生保護者	500	454	90.8%	500	493	98.6%
高校教員	150	139	92.7%	170	153	90.0%
中学校教員	150	140	93.3%	170	127	74.7%
小学校教員	150	132	88.0%	170	127	74.7%
市町村関係者	81	69	85.2%	137	120	87.6%
大学・短大教員	150	94	62.7%	150	114	76.0%
企業	500	289	57.8%	500	310	62.0%

*H9は高校1年生対象

(2) 中学校卒業後の進路希望

	中学生		中学生保護者		小学生保護者	
	H26	H9	H26	H9	H26	H9
回答者数(人)	954	998	955	969	454	493
(%)						
就職(自営も含む)	0.3	0.3	0.2	0.2	0.9	-
高校進学(定時制、通信制を含む)	92.5	90.7	95.9	96.8	92.3	96.3
高等専門学校進学	2.0	2.7	1.6	1.7	1.1	1.0
専修学校・各種学校進学	0.4	0.5	0.2	0.6	0.9	0.8
その他	0.2	-	0.1	-	-	-
まだわからない	4.5	5.8	1.0	0.7	2.2	1.8
無回答	0.1	-	0.9	-	2.6	-

(3) 高校進学を希望する場合の内訳

ア 高校の区分

	中学生		中学生保護者		小学生保護者	
	H26	H9	H26	H9	H26	H9
回答者数(人)	882	905	916	938	419	475
(%)						
全日制の高校	94.8	90.4	99.2	81.7	98.3	85.7
定時制の高校	3.6	5.3	-	-	0.7	0.2
通信制の高校	1.0	1.3	-	-	-	-
無回答	0.6	3.0	0.8	18.3	1.0	14.1

イ 学科の区分

	中学生		中学生保護者		小学生保護者	
	H26	H9	H26	H9	H26	H9
回答者数(人)	882	905	916	938	419	475
(%)						
普通科	① 63.0	① 60.2	① 59.2	① 62.5	① 49.2	① 60.4
農業に関する学科	1.7	0.7	0.5	1.0	0.2	0.2
工業に関する学科	② 8.4	② 10.9	7.6	② 10.4	8.4	5.7
商業に関する学科	2.2	5.6	3.7	3.6	1.4	4.0
水産に関する学科	0.1	0.4	0.2	-	0.5	0.6
家庭に関する学科	2.3	1.5	0.4	0.7	0.2	0.8
看護科(衛生看護科)	1.2	2.2	1.3	2.2	1.4	1.1
情報科	1.4		0.9		0.5	
福祉科	0.9	1.8	0.5	2.0	0.5	2.7
理数科	0.5	2.7	0.8	1.8	0.5	1.9
人文科		0.6		0.1		0.2
スポーツ科学科	2.6		1.6		1.0	
音楽科	0.3	0.9	0.2	0.2	0.2	0.4
英語科	0.5	2.2	0.2	1.2	0.2	1.5
外国語科	0.1		0.2		0.2	
表現科	0.3		0.1		0.2	
総合学科	1.5	1.0	2.4	1.8	1.0	2.5
その他	1.1	0.2	0.5	0.2	0.7	0.2
特に希望する学科はない	3.6	2.0	② 12.7	4.7	② 15.5	6.5
わからない	7.4	5.4	4.8	2.8	14.3	② 7.6
無回答	0.9	1.7	2.0	4.7	3.8	3.6

(4) 高校卒業後の進路希望

(中学生、中学生保護者及び小学生保護者は、高校進学を希望する者のみ回答)

	中学生		高校生		高校生保護者		中学生保護者		小学生保護者	
	H26	H9	H26	H9	H26	H9	H26	H9	H26	H9
回答者数(人)	882	905	965	998	955	983	916	938	419	475
(%)										
大学や短大に進学したい(してほしい)	① 51.6	① 37.3	① 52.7	① 37.5	① 50.5	① 41.9	① 47.5	① 44.3	① 45.6	① 45.1
専修学校、各種学校に進学したい(してほしい)	12.4	17.1	10.7	17.0	15.0	15.4	13.6	13.2	13.8	13.5
就職したい(してほしい)	② 20.0	② 24.4	② 27.4	② 30.8	② 23.0	② 22.6	② 16.0	15.0	12.6	13.3
その他	0.8	0.1	2.7	0.2	3.7	3.1	3.9	1.8	3.6	2.7
まだ考えていない	14.1	20.7	6.0	13.5	4.9	16.3	② 16.0	② 24.3	② 21.7	② 24.8
無回答	1.2	0.3	0.5	1.0	2.9	0.8	2.8	1.3	2.6	0.6

(5) 将来の仕事

(2つまで選択可)

	中学生	
	H26	H9
回答者数(人)	954	998
(%)		
専門的・技術的な仕事	① 53.0	① 44.5
事務的な仕事	② 17.8	9.8
販売の仕事	7.0	6.9
サービスの仕事	③ 16.8	③ 18.2
保安に関する仕事	10.3	4.6
農林漁業に関する仕事	6.5	3.1
運輸・通信に関する仕事	1.9	1.9
技能、製造・建設及び労務に関する仕事	8.1	14.6
その他	5.2	—
まだ決めていない(わからない)	14.9	② 20.6
無回答	2.2	0.9

(6) 高校生に身に付けてほしいこと（身に付けたいこと）

（中学生保護者及び小学生保護者は高校進学希望者のみ回答、3つまで選択可）

H26	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	市町村関係者	大学等教員	企業
回答者数(人)	965	955	916	419	139	140	132	69	94	289
(%)										
進学に必要な学力	① 61.1	② 49.5	② 49.9	② 52.3	③ 43.9	② 55.7	② 61.4	② 47.8	② 57.4	6.2
就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー	③ 45.6	③ 45.3	③ 45.1	③ 47.3	31.7	③ 45.0	37.1	37.7	12.8	② 52.6
グローバル化に対応できる広い視野や語学力	17.4	21.9	22.9	27.7	11.5	13.6	30.3	③ 42.0	21.3	8.0
情報化に対応できるICTを活用する知識や技術	10.3	19.6	21.3	23.2	12.2	11.4	15.9	10.1	8.5	28.0
高齢化社会や福祉についての知識や技術	4.0	3.5	4.4	4.8	1.4	5.7	3.8	-	6.4	2.1
地球環境や自然保護についての知識	3.2	1.4	1.5	1.7	2.9	1.4	1.5	5.8	6.4	1.4
郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度	4.9	8.5	8.2	4.8	35.3	29.3	26.5	36.2	22.3	③ 38.1
自己を理解したり、自分の生き方を主体的に考える態度	28.5	41.6	44.9	39.1	② 61.2	③ 45.0	③ 48.5	40.6	③ 55.3	27.3
思いやりの心やコミュニケーション力などを含めた人間関係形成力	② 58.7	① 73.0	① 68.2	① 68.3	① 82.7	① 75.7	① 64.4	① 52.2	① 73.4	① 85.5
健康の保持増進のための実践力	5.9	5.0	4.9	2.1	5.8	2.1	6.1	2.9	10.6	9.0
その他	0.9	0.3	0.3	0.5	2.2	1.4	0.8	1.4	7.4	4.2
無回答	1.5	2.4	2.0	2.9	-	2.1	0.8	1.4	2.1	1.7

H9	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	市町村関係者	大学等教員	企業
回答者数(人)	(調査非該当)	983	969	493	153	127	127	120	114	310
(%)										
家庭や社会の一員として協調する態度		① 65.5	① 70.9	① 68.0	② 63.4	② 69.3	② 63.8	① 68.3	② 60.5	① 78.7
自分の生き方を主体的に考える態度		③ 53.2	55.5	③ 57.6	③ 54.2	① 78.7	① 72.4	40.8	③ 59.6	25.5
他人を思いやり、自然や美しいものに感動する心		② 58.0	60.6	② 60.2	① 72.5	③ 57.5	③ 59.1	② 62.5	① 78.1	② 57.1
正義感や公德心、ボランティア精神		29.4	32.9	35.3	45.1	54.3	50.4	③ 58.3	49.1	③ 41.3
運動に親しみ、健康に生活する態度		40.6	40.8	41.4	26.8	18.9	26.0	22.5	13.2	29.0
芸術を愛する豊かな感性		4.4	6.5	5.9	7.8	6.3	3.9	10.8	13.2	2.6
その他		0.4	0.7	0.2	1.3	1.6	1.6	3.3	4.4	2.3
無回答		0.1	1.0	1.0	4.6	-	0.8	4.2	-	0.6

(7) 今後、募集人員を増やしてほしい学科

(3つまで選択可)

H26	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
回答者数(人)	965	955	955	454	139	140	132	69	94	289
普通科 (%)	① 54.3	② 34.7	① 42.7	① 44.7	① 50.4	① 53.6	① 52.3	① 42.0	① 43.6	18.7
農業に関する学科	12.6	10.7	9.7	12.3	③ 20.1	12.9	15.2	③ 24.6	② 22.3	② 26.0
工業に関する学科	③ 19.9	19.7	20.3	21.4	② 23.0	19.3	21.2	21.7	14.9	① 30.1
商業に関する学科	13.9	13.4	22.3	15.4	13.7	6.4	7.6	11.6	1.1	17.0
水産に関する学科	4.6	3.5	2.7	2.2	2.2	2.9	5.3	7.2	6.4	8.3
家庭に関する学科	6.1	7.1	5.7	7.0	5.8	5.7	0.8	2.9	12.8	3.5
看護科	② 20.5	① 35.7	③ 29.1	② 35.0	18.7	② 34.3	19.7	② 29.0	16.0	22.5
理数科	7.5	8.0	10.8	10.6	10.1	15.0	18.9	21.7	19.1	12.8
スポーツ科学科	11.7	11.4	16.5	14.3	10.8	10.7	6.8	14.5	8.5	11.4
英語科	13.0	17.9	19.8	20.3	7.9	12.9	24.2	③ 24.6	19.1	20.8
外国語科	15.2	22.5	20.3	24.0	7.2	15.7	② 30.3	20.3	② 22.3	21.8
表現科	5.1	2.9	3.9	5.3	1.4	5.7	2.3	4.3	13.8	3.1
総合学科	15.9	③ 27.4	② 30.2	③ 31.3	8.6	③ 20.0	③ 23.5	21.7	② 22.3	③ 24.9
無回答	2.2	5.3	2.9	3.7	5.8	4.3	3.0	4.3	6.4	8.3

H9	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
回答者数(人)	998	983	969	493	153	127	127	120	114	310
普通科 (%)	① 40.2	26.7	② 34.3	③ 34.9	② 36.6	③ 29.9	③ 30.7	31.7	③ 33.3	21.0
農業に関する学科	12.4	7.7	8.8	7.9	3.9	0.8	11.0	20.0	7.9	11.6
水産に関する学科	5.4	4.2	5.2	5.5	1.3	1.6	6.3	15.0	6.1	7.4
工業に関する学科	21.4	15.6	19.1	19.3	7.2	9.4	12.6	31.7	8.8	22.9
商業に関する学科	17.0	13.4	14.8	16.2	3.3	7.9	7.1	14.2	0.9	20.3
家庭に関する学科	11.6	10.6	10.1	10.3	3.9	11.8	5.5	12.5	5.3	7.7
衛生看護科	③ 26.4	② 34.3	③ 32.7	② 36.3	18.3	26.0	23.6	③ 35.0	25.4	③ 30.0
理数科	14.3	11.3	14.9	17.2	13.1	17.3	19.7	28.3	17.5	11.6
人文学科	9.9	5.7	4.4	4.7	5.2	14.2	6.3	11.7	7.0	4.5
英語科・外国語科	② 27.4	① 36.8	① 42.9	① 43.6	③ 26.1	② 33.9	① 44.9	① 55.8	② 33.3	① 43.2
総合学科	19.1	③ 28.5	32.4	30.0	① 40.5	① 52.0	② 43.3	② 53.3	① 41.2	② 31.6
その他の学科	2.3	1.6	1.3	1.0	3.3	4.7	3.1	1.7	3.5	2.3
わからない	14.5	12.8	10.4	9.9	11.8	6.3	13.4	4.2	14.0	15.2
無回答	0.7	2.1	1.9	0.6	3.3	3.9	1.6	4.2	1.8	2.6

(8) これまで導入してきた新しいタイプの高校や教育制度

(人)

回答者数	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
		965	955	955	454	139	140	132	69	94

(%)

◇総合学科	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
増やすべきである	32.6	37.7	50.9	51.5	10.8	22.9	37.9	33.3	23.4	45.3
現状どおりでよい	46.0	40.5	31.5	28.2	55.4	60.7	45.5	46.4	42.6	32.2
減らすべきである	0.4	1.6	0.9	0.2	23.0	3.6	3.0	15.9	10.6	1.7
わからない	19.6	18.2	15.5	18.9	10.1	11.4	12.1	4.3	23.4	19.0
無回答	1.3	2.0	1.2	1.1	0.7	1.4	1.5	-	-	1.7

◇総合選択制	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
増やすべきである	42.8	42.7	51.5	54.8	16.5	35.0	37.1	37.7	40.4	48.4
現状どおりでよい	36.2	32.5	26.4	22.2	44.6	38.6	38.6	34.8	20.2	24.2
減らすべきである	1.0	1.0	1.0	0.2	16.5	5.0	1.5	13.0	10.6	1.7
わからない	18.5	21.6	19.6	21.4	21.6	20.0	21.2	14.5	28.7	23.9
無回答	1.5	2.2	1.5	1.3	0.7	1.4	1.5	-	-	1.7

◇全日制普通科単位制高校	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
増やすべきである	21.5	13.9	18.7	20.0	14.4	18.6	21.2	26.1	25.5	21.8
現状どおりでよい	52.5	53.1	46.1	47.8	55.4	54.3	49.2	46.4	34.0	37.0
減らすべきである	3.2	3.4	3.7	3.5	18.0	11.4	4.5	11.6	12.8	9.0
わからない	21.5	27.6	30.1	26.7	11.5	14.3	23.5	15.9	27.7	30.4
無回答	1.3	2.0	1.5	2.0	0.7	1.4	1.5	-	-	1.7

◇併設型中高一貫教育	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
増やすべきである	24.1	27.9	33.8	35.7	28.1	26.4	27.3	37.7	52.1	38.1
現状どおりでよい	49.7	41.0	37.1	36.6	39.6	45.7	44.7	42.0	21.3	27.7
減らすべきである	2.1	2.5	2.0	1.8	14.4	11.4	4.5	8.7	4.3	4.2
わからない	22.6	26.7	25.4	24.7	17.3	15.0	22.0	10.1	22.3	28.4
無回答	1.5	1.9	1.7	1.3	0.7	1.4	1.5	1.4	-	1.7

◇連携型中高一貫教育	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
増やすべきである	21.0	27.2	29.5	32.2	17.3	25.7	25.0	40.6	50.0	39.8
現状どおりでよい	50.7	39.4	39.1	35.9	44.6	37.1	47.0	39.1	21.3	30.1
減らすべきである	2.8	2.7	2.7	2.4	20.1	17.9	3.8	11.6	6.4	3.8
わからない	23.7	28.6	27.2	28.0	15.1	17.9	22.7	8.7	22.3	24.9
無回答	1.8	2.1	1.5	1.5	2.9	1.4	1.5	-	-	1.4

◇くくり募集	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
増やすべきである	21.2	28.2	28.2	30.2	25.2	42.1	36.4	36.2	28.7	33.2
現状どおりでよい	53.0	45.1	44.4	40.7	51.8	40.0	45.5	46.4	34.0	34.6
減らすべきである	1.7	2.1	1.6	2.0	10.8	7.1	2.3	4.3	6.4	4.2
わからない	22.7	22.7	24.3	25.6	9.4	9.3	14.4	11.6	30.9	27.0
無回答	1.5	1.9	1.6	1.5	2.9	1.4	1.5	1.4	-	1.0

◇多部制の定時制高校	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
増やすべきである	22.3	19.0	17.7	18.7	20.9	23.6	26.5	23.2	26.6	24.2
現状どおりでよい	53.8	60.7	58.5	57.0	68.3	66.4	57.6	63.8	50.0	43.3
減らすべきである	2.7	2.2	2.2	2.2	2.9	2.9	3.0	5.8	4.3	5.2
わからない	19.9	16.1	20.2	20.5	5.0	3.6	11.4	5.8	18.1	26.3
無回答	1.3	2.0	1.4	1.5	2.9	3.6	1.5	1.4	1.1	1.0

(9) 本県で未導入の新しいタイプの高校や教育制度

(人)

回答者数	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
		965	955	955	454	139	140	132	69	94

(%)

◇総合産業高校・ 総合技術高校	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
必要である	47.6	39.2	48.1	44.9	18.0	32.9	34.8	29.0	29.8	33.9
どちらかといえば必要である	32.1	40.8	37.5	41.4	44.6	49.3	50.8	52.2	36.2	40.8
どちらかといえば必要でない	2.9	6.1	2.4	2.0	17.3	7.9	3.8	8.7	10.6	5.9
必要でない	1.1	2.0	1.4	0.9	10.1	2.1	3.0	4.3	8.5	3.5
わからない	14.5	9.3	9.2	9.0	6.5	5.7	6.8	2.9	12.8	13.8
無回答	1.8	2.6	1.5	1.8	3.6	2.1	0.8	2.9	2.1	2.1

◇中等教育学校	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
必要である	24.0	17.8	22.8	20.9	19.4	20.0	16.7	29.0	26.6	20.1
どちらかといえば必要である	29.1	31.5	33.3	31.9	30.2	32.9	33.3	39.1	33.0	31.8
どちらかといえば必要でない	17.9	20.4	17.4	15.9	22.3	21.4	20.5	17.4	16.0	18.3
必要でない	7.8	7.6	4.6	7.3	14.4	15.0	13.6	4.3	6.4	6.9
わからない	19.4	20.5	20.5	22.7	10.1	8.6	15.2	7.2	18.1	20.8
無回答	1.8	2.1	1.4	1.3	3.6	2.1	0.8	2.9	-	2.1

◇全寮制高校	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
必要である	16.6	4.5	4.2	4.2	1.4	7.1	2.3	10.1	6.4	9.3
どちらかといえば必要である	28.8	13.6	14.2	11.9	13.7	15.7	12.1	21.7	19.1	16.6
どちらかといえば必要でない	19.9	33.9	32.5	34.8	27.3	27.9	33.3	34.8	22.3	28.7
必要でない	14.1	29.3	28.5	28.9	46.0	35.0	40.9	21.7	31.9	23.2
わからない	18.8	16.4	19.4	18.7	8.6	12.1	10.6	10.1	20.2	20.8
無回答	1.9	2.2	1.3	1.5	2.9	2.1	0.8	1.4	-	1.4

◇学校間連携	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
必要である	26.7	14.0	19.1	19.2	7.9	12.9	14.4	11.6	23.4	15.2
どちらかといえば必要である	28.8	32.0	37.0	35.9	25.9	32.9	36.4	42.0	35.1	31.8
どちらかといえば必要でない	15.0	19.4	14.7	16.3	29.5	22.9	24.2	20.3	20.2	23.9
必要でない	9.2	15.1	11.3	9.5	26.6	22.9	13.6	15.9	11.7	13.1
わからない	18.4	16.9	16.5	17.4	7.2	6.4	10.6	8.7	9.6	14.2
無回答	1.8	2.6	1.5	1.8	2.9	2.1	0.8	1.4	-	1.7

◇専修学校の学習成果の 単位認定	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
必要である	31.0	16.3	23.6	20.5	7.9	12.9	15.9	11.6	14.9	19.4
どちらかといえば必要である	32.1	35.2	41.2	46.5	36.7	39.3	43.2	44.9	28.7	35.3
どちらかといえば必要でない	9.5	14.0	8.7	10.4	28.1	20.0	18.2	24.6	24.5	14.9
必要でない	3.7	8.4	6.4	3.7	18.0	10.7	5.3	10.1	17.0	10.4
わからない	21.9	23.8	18.8	17.4	6.5	15.0	16.7	7.2	13.8	18.7
無回答	1.8	2.3	1.4	1.5	2.9	2.1	0.8	1.4	1.1	1.4

◇コミュニティ・スクール	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	市町村 関係者	大学等 教員	企業
必要である	16.6	9.0	10.4	10.1	8.6	10.7	15.2	17.4	27.7	17.3
どちらかといえば必要である	27.7	31.4	32.0	30.4	31.7	34.3	33.3	30.4	29.8	27.0
どちらかといえば必要でない	18.0	20.3	19.0	21.4	33.1	20.0	25.0	30.4	11.7	21.8
必要でない	9.1	10.2	9.6	7.9	18.0	17.9	12.9	15.9	14.9	14.9
わからない	26.9	26.8	27.5	28.4	7.2	15.0	12.1	4.3	14.9	17.6
無回答	1.7	2.3	1.5	1.8	1.4	2.1	1.5	1.4	1.1	1.4

2 多様な教育制度等に対するアンケート調査

(1) 総合学科

県立高校総合学科（全日制） 対象：3年次 回答者数 779人

① 高校卒業後の進路希望

大学・短大に進学	①44.8%
専修学校・各種学校に進学	③22.2%
就職	②30.0%
未定	1.3%
その他	1.5%
無回答	0.1%

② 高校進学前の総合学科の理解度

十分理解していた	③19.0%
やや理解していた	①55.5%
あまり理解していなかった	②20.4%
全く理解していなかった	4.1%
無回答	1.0%

③ 総合学科の情報を得た機会

(当てはまるもの全て選択)

中学校の進路学習(高校調べなど)	②46.2%
中学校の先生	③41.6%
学校説明会・見学会、体験入学など	①56.6%
高校のパンフレットや教育委員会の高校紹介資料	27.2%
高校のホームページ	18.5%
保護者	15.3%
友人	10.1%
塾の先生	3.9%
新聞・雑誌など	0.5%
その他	3.1%
無回答	0.4%

④ 総合学科の高校を選んだ理由

(当てはまるもの全て選択)

自分の学力に合っているから	①36.1%
自分の個性を伸ばすことができるから	16.4%
自分のやりたい勉強ができるから	③27.1%
大学等の進学に有利だから	12.2%
就職に有利だから	8.2%
親や先生がすすめたから	13.9%
友人が希望していたから	3.7%
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	②33.0%
自分の進路についてじっくり考えることができるから	21.6%
自分が住んでいる地域にあるから	22.5%
その他	4.6%
無回答	0.1%

⑤ 科目を選択する基準 (当てはまるもの全て選択)

自分の興味・関心のある科目	①55.8%
将来の生き方や希望する職業などに役立つような科目	②52.0%
資格取得に必要な科目	16.7%
志望大学の受験に必要な科目	24.6%
自分の得意教科など、自分の良さを伸ばすための科目	③24.9%
単位を取得しやすいような科目	6.5%
友人が選択している科目	4.0%
特に基準はない	6.5%
その他	0.8%
無回答	0.1%

⑥ 総合学科に満足している点（当てはまるもの全て選択）

自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる	①52.8%
幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されている	③28.1%
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	②31.8%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	10.4%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	11.3%
単位制なので、自分のペースで学習することができる	3.1%
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	10.4%
就職に向けた進路指導が充実している	11.8%
施設・設備が充実している	4.4%
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	8.2%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	13.5%
特に満足している点はない	17.7%
その他	0.4%
無回答	0.5%

⑦ 総合学科に不満な点（当てはまるもの全て選択）

自分の興味・関心や進路希望等に応じた教科・科目を選択できない	7.6%
開設されている選択科目の分野や数が不十分である	10.4%
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	③11.9%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	4.1%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	6.9%
自分のペースで学習することができない	②12.2%
大学等への進学が難しい	9.0%
就職が難しい	3.3%
施設・設備が充実していない	11.3%
教員や友人などとの人間関係が希薄である	5.3%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	4.1%
特に不満な点はない	①45.3%
その他	2.2%
無回答	3.3%

⑧ 総合学科の学校で学ぶことに満足しているか

満足している	②27.5%
ほぼ満足している	①54.9%
あまり満足していない	③13.0%
全く満足していない	2.4%
無回答	2.2%

(2) 全日制普通科単位制

県立高校全日制普通科単位制（青森東、弘前南、八戸北高校） 対象：3年次 回答者数711人

① 高校卒業後の進路希望

大学・短大に進学	①90.3%
専修学校・各種学校に進学	③ 3.7%
就職	② 4.6%
未定	0.8%
その他	0.6%
無回答	0.0%

② 高校進学前の単位制の高校の理解度

十分理解していた	③13.6%
やや理解していた	①40.2%
あまり理解していなかった	②33.1%
全く理解していなかった	12.0%
無回答	1.1%

③ 単位制の高校について情報を得た機会

(当てはまるもの全て選択)

中学校の進路学習(高校調べなど)	②49.6%
中学校の先生	③36.8%
学校説明会・見学会、体験入学など	①51.9%
高校のパンフレットや教育委員会の高校紹介資料	34.5%
高校のホームページ	12.9%
保護者	15.0%
友人	5.8%
塾の先生	7.3%
新聞・雑誌など	0.4%
その他	6.2%
無回答	0.1%

④ 単位制の高校を選んだ理由

(当てはまるもの全て選択)

自分の学力に合っているから	②39.9%
自分の個性を伸ばすことができるから	7.9%
自分のやりたい勉強ができるから	16.6%
大学等の進学に有利だから	①41.4%
就職に有利だから	3.8%
親や先生がすすめたから	15.0%
友人が希望していたから	1.5%
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	10.1%
自分の進路についてじっくり考えることができるから	8.7%
自分が住んでいる地域にあるから	③20.7%
その他	11.1%
無回答	0.3%

⑤ 科目を選択する基準 (当てはまるもの全て選択)

自分の興味・関心のある科目	②55.0%
将来の生き方や希望する職業などに役立つような科目	③38.8%
資格取得に必要な科目	4.9%
志望大学の受験に必要な科目	①60.3%
自分の得意教科など、自分の良さを伸ばすための科目	19.4%
単位を取得しやすいような科目	2.4%
友人が選択している科目	0.7%
特に基準はない	6.6%
その他	2.5%
無回答	—

⑥ 全日制普通科単位制に満足している点（当てはまるもの全て選択）

自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる	①37.7%
幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されている	13.9%
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	23.3%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	2.3%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	3.0%
単位制なので、自分のペースで学習することができる	4.2%
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	②28.6%
就職に向けた進路指導が充実している	1.5%
施設・設備が充実している	13.1%
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	7.9%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	7.5%
特に満足している点はない	③24.5%
その他	2.0%
無回答	0.4%

⑦ 全日制普通科単位制に不満な点（当てはまるもの全て選択）

自分の興味・関心や進路希望等に応じた教科・科目を選択できない	6.2%
開設されている選択科目の分野や数が不十分である	8.3%
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	③10.7%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	6.0%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	7.0%
自分のペースで学習することができない	②13.4%
大学等への進学が難しい	1.8%
就職が難しい	3.5%
施設・設備が充実していない	2.4%
教員や友人などとの人間関係が希薄である	2.4%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	2.7%
特に不満な点はない	①50.9%
その他	3.1%
無回答	5.9%

⑧ 全日制普通科単位制の高校で学ぶことに満足しているか

満足している	②35.3%
ほぼ満足している	①49.2%
あまり満足していない	③8.9%
全く満足していない	1.8%
無回答	4.8%

(3) 併設型中高一貫教育

県立高校併設型中高一貫教育（三本木高校） 対象：3学年（附属中3期生） 回答者数75人

① 高校卒業後の進路希望

大学・短大に進学	①96.0%
専修学校・各種学校に進学	—
就職	—
未定	② 4.0%
その他	—
無回答	—

② 進学前の併設型中高一貫教育校の理解度

十分理解していた	②18.7%
やや理解していた	①62.7%
あまり理解していなかった	③14.7%
全く理解していなかった	4.0%
無回答	—

③ 併設型中高一貫教育校の情報を得た機会

(当てはまるもの全て選択)

小学校の先生	①50.7%
学校説明会など	③36.0%
学校のパンフレットや教育委員会の学校紹介資料	24.0%
学校のホームページ	10.7%
保護者	②49.3%
友人	13.3%
塾の先生	5.3%
新聞・雑誌など	4.0%
その他	8.0%
無回答	—

④ 併設型中高一貫教育校を選んだ理由

(当てはまるもの全て選択)

自分の学力に合っているから	6.7%
自分の個性を伸ばすことができるから	14.7%
自分のやりたい勉強ができるから	10.7%
大学等の進学に有利だから	③22.7%
就職に有利だから	1.3%
親や先生がすすめたから	①52.0%
友人が希望していたから	4.0%
高校入学時に学力検査がなく、学習が系統的にできるから	②36.0%
自分の進路についてじっくり考えることができるから	6.7%
自分が住んでいる地域にあるから	18.7%
その他	16.0%
無回答	—

⑤ 併設型中高一貫教育校に満足している点（当てはまるもの全て選択）

6年間を見通した計画的・継続的な教育が行われている	18.7%
中学校と高校の教員による交流授業が行われている	③22.7%
中学校・高校合同の特別活動や学校行事がある	②30.7%
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	20.0%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	8.0%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	①34.7%
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	12.0%
就職に向けた進路指導が充実している	2.7%
施設・設備が充実している	6.7%
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	13.3%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	12.0%
特に満足している点はない	21.3%
その他	8.0%
無回答	—

⑥ 併設型中高一貫教育校に不満な点（当てはまるもの全て選択）

6年間を見通した計画的・継続的な教育が不十分である	②22.7%
中学校と高校の教員による交流授業が不十分である	9.3%
中学校・高校合同の特別活動や学校行事が少ない	17.3%
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	6.7%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	9.3%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	6.7%
大学等への進学が難しい	4.0%
就職が難しい	6.7%
施設・設備が充実していない	②22.7%
教員や友人などとの人間関係が希薄である	10.7%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	8.0%
特に不満な点はない	①28.0%
その他	9.3%
無回答	—

⑦ 併設型中高一貫教育校で学ぶことに満足しているか

満足している	③14.7%
ほぼ満足している	①61.3%
あまり満足していない	②18.7%
全く満足していない	5.3%
無回答	—

(4) 連携型中高一貫教育

県立高校連携型中高一貫教育（田子高校） 対象：3学年 回答者数46人

① 高校卒業後の進路希望

大学・短大に進学	③23.9%
専修学校・各種学校に進学	②30.4%
就職	①41.3%
未定	4.3%
その他	—
無回答	—

② 進学前の連携型中高一貫教育校の理解度

十分理解していた	②28.3%
やや理解していた	①37.0%
あまり理解していなかった	③19.6%
全く理解していなかった	8.7%
無回答	6.5%

③ 連携型中高一貫教育の情報を得た機会

(当てはまるもの全て選択)

中学校の進路学習(高校調べなど)	③43.5%
中学校の先生	①67.4%
学校説明会・見学会、体験入学など	②54.3%
高校のパンフレットや教育委員会の高校紹介資料	21.7%
高校のホームページ	8.7%
保護者	13.0%
友人	4.3%
塾の先生	—
新聞・雑誌など	—
その他	2.2%
無回答	—

④ 連携型中高一貫教育を選んだ理由

(当てはまるもの全て選択)

自分の学力に合っているから	②39.1%
自分の個性を伸ばすことができるから	10.9%
自分のやりたい勉強ができるから	4.3%
大学等の進学に有利だから	10.9%
就職に有利だから	13.0%
親や先生がすすめたから	③15.2%
友人が希望していたから	2.2%
高校入学時に学力検査がなく、学習が系統的にできるから	③15.2%
自分の進路についてじっくり考えることができるから	10.9%
自分が住んでいる地域にあるから	①47.8%
その他	6.5%
無回答	—

⑤ 連携型中高一貫教育校に満足している点（当てはまるもの全て選択）

6年間を見通した計画的・継続的な教育が行われている	8.7%
中学校と高校の教員による交流授業が行われている	10.9%
中学校・高校合同の特別活動や学校行事がある	21.7%
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	①28.3%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	②23.9%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	②23.9%
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	15.2%
就職に向けた進路指導が充実している	15.2%
施設・設備が充実している	0.0%
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	17.4%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	17.4%
特に満足している点はない	①28.3%
その他	4.3%
無回答	2.2%

⑥ 連携型中高一貫教育に不満な点（当てはまるもの全て選択）

6年間を見通した計画的・継続的な教育が不十分である	2.2%
中学校と高校の教員による交流授業が不十分である	6.5%
中学校・高校合同の特別活動や学校行事が少ない	—
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	2.2%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	③ 8.7%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	2.2%
大学等への進学が難しい	6.5%
就職が難しい	2.2%
施設・設備が充実していない	②10.9%
教員や友人などとの人間関係が希薄である	4.3%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	6.5%
特に不満な点はない	①52.2%
その他	4.3%
無回答	4.3%

⑦ 連携型中高一貫教育校で学ぶことに満足しているか

満足している	②28.3%
ほぼ満足している	①47.8%
あまり満足していない	③15.2%
全く満足していない	8.7%
無回答	—

(5) 定時制3部制

県立高校定時制3部制（総合学科を除く）北斗、八戸中央高校 対象：3年次 回答者数131人

① 高校卒業後の進路希望

大学・短大に進学	③ 8.4%
専修学校・各種学校に進学	② 19.1%
就職	① 66.4%
未定	4.6%
その他	1.5%
無回答	—

② 高校進学前の定時制3部制の理解度

十分理解していた	② 25.2%
やや理解していた	① 51.9%
あまり理解していなかった	③ 19.8%
全く理解していなかった	3.1%
無回答	—

③ 定時制3部制の情報を得た機会

(当てはまるもの全て選択)

中学校の進路学習(高校調べなど)	② 32.1%
中学校の先生	① 64.9%
学校説明会・見学会、体験入学など	16.0%
高校のパンフレットや教育委員会の高校紹介資料	8.4%
高校のホームページ	8.4%
保護者	② 32.1%
友人	16.0%
塾の先生	0.8%
新聞・雑誌など	—
その他	8.4%
無回答	—

④ 定時制3部制を選んだ理由

(当てはまるもの全て選択)

自分の学力に合っているから	① 55.0%
自分の個性を伸ばすことができるから	8.4%
自分のやりたい勉強ができるから	5.3%
大学等の進学に有利だから	0.0%
就職に有利だから	1.5%
親や先生がすすめたから	③ 43.5%
友人が希望していたから	5.3%
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	10.7%
3年間での卒業も可能だから	17.6%
自分の進路についてじっくり考えることができるから	20.6%
仕事やアルバイトをしながら通学できるから	② 44.3%
自分が住んでいる地域にあるから	12.2%
その他	6.9%
無回答	—

⑤ 科目を選択する基準 (当てはまるもの全て選択)

自分の興味・関心のある科目	① 72.5%
将来の生き方や希望する職業などに役立つような科目	27.5%
資格取得に必要な科目	③ 32.1%
志望大学の受験に必要な科目	4.6%
自分の得意教科など、自分の良さを伸ばすための科目	② 32.8%
単位を取得しやすいような科目	22.1%
友人が選択している科目	8.4%
特に基準はない	15.3%
その他	0.8%
無回答	—

⑥ 定時制3部制に満足している点（当てはまるもの全て選択）

自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる	① 53.4%
幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されている	16.0%
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	23.7%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	11.5%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	6.1%
単位制なので、自分のペースで学習することができる	② 33.6%
自分が所属している部(午前部・午後部・夜間部)だけではなく、他の部の科目も履修することができる	10.7%
自分の生活パターンに合わせた科目履修ができる	③ 27.5%
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	1.5%
就職に向けた進路指導が充実している	15.3%
施設・設備が充実している	22.1%
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	19.1%
教育相談が充実している	2.3%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	7.6%
特に満足している点はない	13.0%
その他	0.8%
無回答	—

⑦ 定時制3部制に不満な点（当てはまるもの全て選択）

自分の興味・関心や進路希望等に応じた教科・科目を選択できない	4.6%
開設されている選択科目の分野や数が不十分である	6.1%
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	8.4%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	5.3%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	3.8%
自分のペースで学習することができない	3.8%
大学等への進学が難しい	③ 9.9%
就職が難しい	② 13.0%
施設・設備が充実していない	6.9%
教員や友人などとの人間関係が希薄である	6.9%
仕事と勉強の両立が難しい	3.8%
教育相談が充実していない	1.5%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	3.8%
特に不満な点はない	① 53.4%
その他	3.8%
無回答	—

⑧ 定時制3部制で学ぶことに満足しているか

満足している	② 27.5%
ほぼ満足している	① 58.0%
あまり満足していない	③ 9.9%
全く満足していない	4.6%
無回答	—

(6) 定時制3部制・総合学科

県立高校定時制3部制総合学科(尾上総合高校) 対象:2年次 回答者数68人

① 高校卒業後の進路希望

大学・短大に進学	②17.6%
専修学校・各種学校に進学	14.7%
就職	①48.5%
未定	③16.2%
その他	2.9%
無回答	—

② 高校進学前の定時制3部制・総合学科の理解度

理解度	3部制	総合学科
十分理解していた	③16.2%	③13.2%
やや理解していた	①44.1%	②32.4%
あまり理解していなかった	②26.5%	①42.6%
全く理解していなかった	11.8%	10.3%
無回答	1.5%	1.5%

③ 定時制3部制総合学科の情報を得た機会

(当てはまるもの全て選択)

中学校の進路学習(高校調べなど)	16.2%
中学校の先生	①70.6%
学校説明会・見学会、体験入学など	③19.1%
高校のパンフレットや教育委員会の高校紹介資料	②20.6%
高校のホームページ	13.2%
保護者	17.6%
友人	11.8%
塾の先生	—
新聞・雑誌など	—
その他	—
無回答	1.5%

④ 定時制3部制総合学科を選んだ理由

(当てはまるもの全て選択)

自分の学力に合っているから	①38.2%
自分の個性を伸ばすことができるから	16.2%
自分のやりたい勉強ができるから	③25.0%
大学等の進学に有利だから	0.0%
就職に有利だから	7.4%
親や先生がすすめたから	②35.3%
友人が希望していたから	2.9%
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	17.6%
3年間での卒業も可能だから	16.2%
自分の進路についてじっくり考えることができるから	10.3%
仕事やアルバイトをしながら通学できるから	22.1%
自分が住んでいる地域にあるから	8.8%
その他	2.9%
無回答	—

⑤ 科目を選択する基準(当てはまるもの全て選択)

自分の興味・関心のある科目	①69.1%
将来の生き方や希望する職業などに役立つような科目	②35.3%
資格取得に必要な科目	20.6%
志望大学の受験に必要な科目	8.8%
自分の得意教科など、自分の良さを伸ばすための科目	③26.5%
単位を取得しやすそうな科目	14.7%
友人が選択している科目	7.4%
特に基準はない	11.8%
その他	—
無回答	—

⑥ 定時制3部制総合学科に満足している点（当てはまるもの全て選択）

自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる	①60.3%
幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されている	②30.9%
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	20.6%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	11.8%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	10.3%
単位制なので、自分のペースで学習することができる	19.1%
自分が所属している部（Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部）だけでなく、他の部の科目も履修することができる	2.9%
自分の生活パターンに合わせた科目履修ができる	13.2%
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	1.5%
就職に向けた進路指導が充実している	10.3%
施設・設備が充実している	③22.1%
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	13.2%
教育相談が充実している	1.5%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	8.8%
特に満足している点はない	19.1%
その他	1.5%
無回答	1.5%

⑦ 定時制3部制総合学科に不満な点（当てはまるもの全て選択）

自分の興味・関心や進路希望等に応じた教科・科目を選択できない	4.4%
開設されている選択科目の分野や数が不十分である	4.4%
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	4.4%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	2.9%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	4.4%
自分のペースで学習することができない	2.9%
大学等への進学が難しい	8.8%
就職が難しい	②11.8%
施設・設備が充実していない	2.9%
教員や友人などとの人間関係が希薄である	7.4%
仕事と勉強の両立が難しい	—
教育相談が充実していない	4.4%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	③10.3%
特に不満な点はない	①47.1%
その他	2.9%
無回答	7.4%

⑧ 定時制3部制総合学科で学ぶことに満足しているか

満足している	②22.1%
ほぼ満足している	①54.4%
あまり満足していない	③16.2%
全く満足していない	4.4%
無回答	2.9%

(7) 総合選択制

県立高校総合選択制（弘前実業高校） 対象：3年次 回答者数314人

① 高校卒業後の進路希望

大学・短大に進学	②30.3%
専修学校・各種学校に進学	③24.2%
就職	①40.4%
未定	3.2%
その他	1.6%
無回答	0.3%

② 高校進学前の総合選択制の理解度

十分理解していた	8.3%
やや理解していた	①36.9%
あまり理解していなかった	②31.5%
全く理解していなかった	③22.0%
無回答	1.3%

③ 総合選択制の高校の情報を得た機会

(当てはまるもの全て選択)

中学校の進路学習(高校調べなど)	17.5%
中学校の先生	③19.7%
学校説明会・見学会、体験入学など	①42.7%
高校のパンフレットや教育委員会の高校紹介資料	16.6%
高校のホームページ	7.0%
保護者	12.7%
友人	6.4%
塾の先生	1.9%
新聞・雑誌など	1.3%
その他	②28.3%
無回答	0.3%

④ 総合選択制の高校を選んだ理由

(当てはまるもの全て選択)

自分の学力に合っているから	19.1%
自分の個性を伸ばすことができるから	③19.7%
自分のやりたい勉強ができるから	①32.2%
大学等の進学に有利だから	5.7%
就職に有利だから	15.3%
親や先生がすすめたから	11.8%
友人が希望していたから	1.9%
自分が在籍している学科以外の科目を選択できるから	6.7%
自分の進路についてじっくり考えることができるから	5.7%
自分が住んでいる地域にあるから	10.5%
その他	②25.5%
無回答	0.6%

⑤ 科目を選択する基準 (当てはまるもの全て選択)

自分の興味・関心のある科目	①58.3%
将来の生き方や希望する職業などに役立つような科目	②45.5%
資格取得に必要な科目	③27.7%
志望大学の受験に必要な科目	7.3%
自分の得意教科など、自分の良さを伸ばすための科目	15.0%
単位を取得しやすいような科目	7.3%
友人が選択している科目	3.8%
特に基準はない	7.6%
その他	1.0%
無回答	—

⑥ 総合選択制に満足している点（当てはまるもの全て選択）

自分の興味・関心に応じて他の学科の科目を選択できる	①59.9%
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	②20.4%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	5.4%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	9.9%
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	7.3%
就職に向けた進路指導が充実している	5.4%
施設・設備が充実している	10.8%
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	7.0%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	11.1%
特に満足している点はない	③13.7%
その他	2.5%
無回答	—

⑦ 総合選択制に不満な点（当てはまるもの全て選択）

他の学科から履修できる科目の数（単位）が少ない	②13.1%
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	6.7%
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	2.2%
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	5.4%
大学等への進学が難しい	③ 8.9%
就職が難しい	3.2%
施設・設備が充実していない	1.9%
教員や友人などとの人間関係が希薄である	3.5%
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	1.3%
特に不満な点はない	①57.6%
その他	5.4%
無回答	1.9%

⑧ 総合選択制の高校で学ぶことに満足しているか

満足している	②37.6%
ほぼ満足している	①53.5%
あまり満足していない	③ 7.3%
全く満足していない	0.6%
無回答	1.0%

3 県小学校長会及び県中学校長会への意見照会結果

(1) 青森県小学校長会（10地区会長から意見照会）

① 社会の変化や多様な進路志望に対応した学校・学科の在り方について

併設型中高一貫教育はどの程度認識されているか

	よく認識されている	概ね認識されている	あまり認識されていない	全く認識されていない
ア 小学生	0	1	7	2
イ 小学校教員	1	2	7	0

(単位：人)

ウ 中高一貫教育校（併設型）を導入したことによる小学校への影響について

- ・青森県全体、特に十和田市を中心とした上北地区、三八地区の児童にとっては、将来への選択肢が増えて、学習への励みにもなる。
- ・当地区には中高一貫教育校がないので、今のところ全く影響はない。
- ・自分の居住地や勤務している小学校の周辺地域に中高一貫校が存在するかどうかで、認知度や意識は異なると思う。
- ・学区外に選択できる学校が増えることはいいことである。進学する高校を見据え、6カ年も中高一貫教育の中で時間を有効に使い、早くから高等学校の内容も取り入れたり、教育課程の中で思い切った教育活動ができるし、事前の説明会の中で納得して保護者と児童で選択できるのはいいと思う。

エ 中等教育学校を含む、今後の中高一貫教育の導入や在り方について

- ・いろいろなタイプの中高一貫教育は小学校にとっても選択肢が増えてよい。受験の機会は地域によって有利・不利が生じないようにしてもらいたい。
- ・高校入試の影響を受けずにゆとりある学校生活を送ることができること、6年間の計画的、継続的な教育指導ができること、異学年による活動を通して社会性や豊かな人間性を育成できること等の利点から、中高一貫教育の導入は望ましいと考える。
- ・全国的に見れば、たくさんのモデル校があるのだから、その成果や問題点についてしっかり共通理解した上で、次の段階に進むべきだと思う。
- ・農業や工業にも出口がある高等学校に併設された中学校など、青森県で将来活躍できる人材育成を考えた中高一貫教育の在り方が大切だと思う。
- ・発達障害のある児童や不登校生徒に対する普通高校における受け皿がないと思う。中高一貫教育を進めるなら、このような児童・生徒を含めた在り方を考えることが必要だと思う。
- ・これまで実施してきた併設型や連携型の実践校の成果を県民にもっと知らせることが必要である。一貫教育のメリットが理解されると協力も得やすくなるはず。
- ・生徒が長期間同じメンバーで過ごすことによる人間関係の固定化がもたらす負の影響が生じないよう、ゆとりある学校生活の中で豊かな教育活動が行えるようにしていくことが必要である。
- ・連携型中高一貫教育校は、受験勉強をしなくても高校には入れるという側面があり、学習意欲の低下を招くことがないか不安である。
- ・進学校の中高一貫教育は、受験競争の低年齢化に繋がるのではないか。

② 校種間の連携について

ア 小・中・高等学校の校種間の連携による取組の成果や課題について

- ・児童が上級学校の実情を知る上で、成果がみられる。また、先輩の姿を目にすることで活動（学習、運動等）意欲を強くしている。
- ・小学校においては、児童は、校種が違うと未知の世界で、連携活動を通して教えてもらうことで、近隣の中学校・高校への興味・関心も持てる。
- ・小学校の子どもたちにとって自分が中学生や高校生になった時のイメージを身近に感じることができ、近い将来の自分の目標を具体的に設定することができる。
- ・公開授業により、教師の授業改善のヒントが得られる。
- ・距離的に離れている場合、日常的な連携が難しい。
- ・校種間連携では、共通の時間と費用、教員間の打ち合わせの時間確保など解決すべき事柄が多い。
- ・中学校区でキャリア教育に関する活動をしたり、高校とも連携することで、将来の生き方や人とのかかわり方について学ぶ機会として大変有効である。
- ・小・中・高それぞれが話し合い、継続的な見通しと方針を掲げ、お互いの学校がどんなことに対応できるのか明確にし、体制（校長や主となる教員なども）が変わっても長いスパンで連携ができるようにしたい。
- ・高校との交流はとても有意義である。目標を持って学んでいる高校生の輝いている姿に触れさせることができ、児童に将来への希望を持たせるのに有効であった。

イ 小・中・高等学校の今後の校種間の連携の在り方などについて

- ・児童数が減り続ける現状にあって、人間関係能力を高めるため、幅の広い人間関係づくりができる場として、校種間の連携は今以上に力を入れて行くべき。
- ・特別な支援を要する子どもに対する小、中、高の連携のあり方もさらに考慮していく必要がある。
- ・連携する高等学校を1校に限定せず、普通高校、工業高校、商業高校等、いろいろな種類の高等学校との連携が望ましい。
- ・児童生徒の移動手段を確保したり、学校種間の連絡調整を行うなど、連携をコーディネートする役割の人員が必要である。
- ・連携のノウハウを持たない学校等に対して、連携することのメリットや成果を知ってもらうため、具体的な連携事例を広報してはどうか。

③ 今後の高等学校教育改革に対する主な意見

- ・私立高校、公立高校ともに特色ある教育活動を行って生徒の可能性を最大限に伸ばしている。今後とも、共存しつつ、多くの生徒が個に応じた学ぶことができる場を確保してほしい。
- ・高等学校教育の多様化・個性化を実現するために、行政、学校、地域が、生徒・保護者、地域のニーズを引き出す努力をもっと行うべき。
- ・問題解決能力、人間としての思いやりと協調性、他者を認める心など、広い意味での学力の向上を目指す高等学校であって欲しい。
- ・発達障害のある生徒や不登校生徒の受け入れも含めた改革であって欲しい。
- ・少子化に伴い再編はやむを得ないと思われるが、普通科は地域にバランスよく設置し、特色ある高校は残してほしい。

(2) 青森県中学校長会（9地区会長から意見照会）

① 学科の新設・改編はどの程度認識されているか。

	よく認識されている	概ね認識されている	あまり認識されていない	全く認識されていない
ア 中学生	0	6	3	0
イ 中学校教員	1	6	2	0

(単位：人)

ウ 現在、設置されている学科全般が、中学生のニーズに合ったものになっているか、中学生の志望状況や教員による進路指導の実情等を踏まえての意見

- ・生徒が、学校説明会や募集に関わるパンフレットを通して、将来の進路を見据え、自己決定しており、概ねニーズに合っている。
- ・上級学校への進学希望者が増加している現状と、現在の学科構成との間にギャップが生じてきているように感じる。
- ・農業教育、水産業教育、工業教育など、即戦力となるような人財育成につながる職業教育の充実が望まれる。
- ・福祉や介護に関する職業を希望する生徒が増えている。
- ・中学生は、設置してある学科から進路先を決定するというよりも、自分の成績で合格できる高等学校かどうかで出願先を決める傾向がある。
- ・隣接の市町村にある県立高校や私立高校を含めると、水産、工業、商業、農業、福祉、看護等、ほぼ全ての学科があるので、中学生のニーズに合った状況と言える。

エ 今後の学科の設置や改編の在り方などについて

- ・高等学校で学んだことや身に付けた資格が、就職の際に大きな力となる。企業から求められるような人財を育成するための学科を設置する必要がある。
- ・中学生は、居住地区内の高等学校を希望する傾向にあり、それぞれの地区に特色ある学科を設置するような改編を望む。
- ・新たな学科を設置するのではなく、既存の学科を充実してもらいたい。
- ・志望者が多い学科の定員を増やすなどして、生徒が学びたい学科で学べるようにしてほしい。
- ・学科改編を行う場合は、中学生によく理解されるための時間を設けるため、2年くらい前に周知して欲しい。

② 高校教育改革に伴い導入した多様な教育制度についての認識

		よく認識されている	概ね認識されている	あまり認識されていない	全く認識されていない	
ア	全日制普通科単 位制について	中学生	0	4	5	0
		中学校教員	1	6	2	0
イ	総合選択制に ついて	中学生	0	0	8	1
		中学校教員	1	0	7	1
ウ	定時制3部制 について	中学生	2	2	4	1
		中学校教員	4	4	1	0
エ	くくり募集に ついて	中学生	1	4	2	2
		中学校教員	2	4	2	1
オ	総合学科につ いて	中学生	0	6	2	1
		中学校教員	2	4	3	0
カ	中高一貫教育 について	中学生	0	2	6	1
		中学校教員	1	6	2	0

(単位：人)

③ 現在導入されている多様な教育制度等が中学生のニーズに合ったものになっているか

- ・全日制普通科単位制は、中学生・保護者のニーズに合っている。
- ・総合選択制は、中学生のニーズには合っており、幅広く学習できる点ではよいと思う。しかし、専門性が薄れる懸念はある。
- ・定時制3部制は、中学生・保護者のニーズに合っている。特別な支援を要する生徒に対して配慮してくれている高等学校もあり、この点でもよいと思う。
- ・中学校段階で、高等学校での学習内容を理解したり、明確な進路目標を持っている生徒は少ないので、工業高校や商業高校、農業高校等ではくくり募集を行い、半年～1年かけて学習内容を実感したうえで、自分にあった学科選択ができた方がよいと思う。
- ・中学生が、普通科と総合学科の違いや総合学科のメリットを理解しているとは言えない。総合学科が中学生のニーズに合ったものかどうかは検討の余地がある。
- ・中高一貫教育（連携型、併設型）をスムーズに実践するためには、諸条件等が整っている必要がある。
- ・連携型中高一貫教育は、中学生・保護者・地域のニーズに合っている。
- ・多様な制度は、混乱を招くだけである。

④ 今後の多様な教育制度等の導入や在り方などについて

- ・地元で1つしかない高等学校については、小規模化したとしても連携型中高一貫教育校として存続できないものか。
- ・保護者も中学生も、まずは行きたい高等学校への合格が目標であり、自分が行きたい学校の制度にしか関心がないのが実情である。
- ・新たな教育制度を導入するよりも、各高等学校が制度の枠組みの中で、最大限工夫した取組を展開し、その内容を積極的に生徒・保護者及び教員に周知することの方が重要と考える。

⑤ 夢や志の実現に向けた教育活動に必要な高等学校の規模・配置について

ア 高等学校の統合や学級減等により、中学生の志望状況や教員による進路指導にどのような影響があったか

- ・これまでの入試データが生かされなくなったり、進路選択の幅が狭まるなどの影響があった。
- ・自分の志望よりも成績を重視した、かなり慎重な志望校選択に偏るなどの混乱が見られた。
- ・通学のことを考えて、自宅に近い私立高等学校を志望する生徒も見られた。
- ・以前よりも自分の町村以外の高等学校に通学する生徒が多くなり、通学距離が長くなったのではないかと思われる。
- ・当初、不安の声はあったが、結論として時間の経過が、全ての問題を解決した。
- ・郡部の一部の学校には影響があったと思うが、基本的にはあまり影響はなかった。

イ 今後の高等学校の規模・配置について留意すべき点など

- ・郡部の中学校から進学する生徒が多い高等学校では、経済的に苦しい生徒が増えてきていることから、その存続についても、より慎重に考えて欲しい。
- ・高等学校にはある程度規模の大きさが必要である。地理的に周辺市町村から通学が容易で、中学生にとっても行きたい高等学校の定員をこれ以上減じてまで、他の高等学校の生き残りを図るべきではないと思う。
- ・郡部に居住する中学生や保護者にとって、志望校を選択するに当たって、通学距離（時間）も大きな条件になる。可能な限り、近くに多様な選択肢があるようにして欲しい。
- ・学校規模・配置については、地域性を考慮して欲しい。
- ・今後は、多様な生徒が増加すると考えられるので、生徒に向き合った少人数指導ができるよう、1学級当たりの生徒数の基準を減じてほしい。

⑥ 校種間の連携について

ア 小・中・高等学校の校種間の連携による取組の成果や課題について

- ・連携に伴って将来の見通しがある程度できるようになった。
- ・校種間の連携を図ることで、発達段階を踏まえた、一貫性のある継続的な指導ができる。
- ・中学生にとっては、高校生に直接指導されたことを自分たちの活動に生かすなど、刺激になっている。
- ・中学生は、高校生との交流では、知見に富んだ姿にあこがれを抱き、高校生活への期待と目標を抱く。小学生との交流では、年長者としての責任感を自覚する機会となる。いずれも向上心を抱く好機となる。
- ・校舎が離れていると連携しづらく、様々な問題が生じてくる。
- ・中・高等学校の校種間連携はごく一部の限られた学校間のみで実施されているものであり、その他の学校では、実感がない。
- ・連携の取組を推進・運営するための合同運営委員会の機能や連携コーディネーターの役割を担う担当者の力量が重要になってくる。

イ 小・中・高等学校の今後の校種間の連携の在り方などについて

- ・キャリア教育の観点から連携は必須であり、さらに社会参加、貢献を含めて総合的に進めていく必要がある。
- ・地理的な制約などから、中・高等学校の連携は難しいと考える。
- ・小・中・高等学校の中間にある中学校が今まで以上に積極的に連携をしていかなければならないと思うが、時間的な余裕がないのが現状である。
- ・あれも、これもというような連携ではなく、青森県として必要性を考慮した上で、連携内容を決めて欲しい。
- ・授業公開等だけでなく、懇談会や協議会を通じて、それぞれの校種の教員が互いに理解し合うことが必要である。
- ・現在、様々な連携がなされているが、高等学校の教育内容に繋げていくためには、学区の小・中で連携したキャリア教育、中学校と複数の高校との連携したキャリア教育により、高校受検時点での中学生の進路意識、職業意識を高める指導の必要を感じる。

⑦ 今後の高等学校教育改革に対する主な意見

- ・高等学校も中学校も、ある程度のスケールが必要であり、統廃合は少子化に伴う現実的選択だと考える。その上で、スクールバスの運行補助等、通学への支援を拡充していくことが求められていると思う。
- ・地域によっては、統合の対象となる学校の中間地点に新校を創設するなど、立地条件等を考慮した規模・配置についても考えてほしい。
- ・根幹となる制度などがめまぐるしく変わることには反対である。長い歴史を通じて培ってきた教育は、急激に大きく変わるべきではない。
- ・進学指導にのみ力を入れるのではなく、青森県を支える人材づくり（農業、商業、工業、漁業）と心を育てる教育にも力を入れるべきである。
- ・特別な支援を要する生徒が増加していることから、インクルーシブ教育に留意した地域の高等学校が必要ではないか。